

なじょだね



当院マスコット
キャラクター



平成 25 年 10 月 25 日発行

新潟県立松代病院

十日町市松代 3592-2

Tel:025-597-2100

Web:<http://www.matsudai-hp.com>

Mail:matsudai.hospital@pref.niigata.lg.jp

松代病院広報委員会

施肥と私たちの食事

海拔の高いところでもぼちぼち始まり、多くは今年もようやく稲刈りが終わる頃かと思います。

みなさん今年もありがとうございました。苦勞して作ってくれる方々がいて皆が喰っていられるのですから。

活着期の雨不足、登熟期の熱帯夜などで実入りが心配されるのかと思いましたが良かったです。ただ倒伏が多くて弱ったという話をよく伺いました。桿長が長いコシヒカリであるからこそ、また稲穂が充実しているからこそ倒れるのでしょうか、今は“窒素肥料の効き過ぎ”という話しも耳にしました。天水田では水枯れが心配で中干しが難しいという方もいらっしゃいました。中干しも化成肥料が容易になった近代の習慣だという事です。

それこそ昔は苦勞して草刈して作った草堆肥が主だったでしょうから窒素は少なかったはずですが。ボカシが確保できるほどの鶏や牛馬もいなかったでしょうから。草肥は窒素が少ないけれどカリやリン酸それに大地の僅かな苦土も吸い上げた、良質な土壤維持成分は豊富だったと思います。畔に大豆を植えて田の窒素源とヒトのタンパク源にした知恵には本当に感銘します。



内科部長 小堺医師



さて、私たちはどうでしょう？ 幕末期にも凶作は30回近く、飢饉は5回、天保の大飢饉がありました。この時、北日本では4人に一人の人が亡くなり、耕地の少ない秋山郷では住民全員が絶え、廃村になった集落が3つも出ました。昭和にも2つの大飢饉があり恐慌と重なり悲惨な戦争への道を作りました。飢えることのない都の貴族ではない私たちの暮らしは何とか飢えずに秋の実りまで生き延びることが第一でした。

(次ページに続く)



(前ページから続き)

私たちの今の暮らしはどうでしょう？ 若い時期には穂肥が必要です。しかし年齢が行くとそれは過剰分けつや徒長や根の弱体を招きます。これほど飢えることのない時代を迎えた私たちは歴史上初めてなのかも知れません。ですから中年期には余剰な施肥は慎まなければいけません。けれども御高齢の先輩方には登熟期の実肥＝稲の窒素＝ヒトのタンパク（肉・魚・大豆）の積極的な摂取が是非とも必要です。歳を取ったからこそタンパクを食べて実りを充実させて、どうか何時までも元気で大切なこの大地を守って行ってください。



研修医紹介

当院では年間5人程度の研修医(医大卒業免許取得後の医師)を受け入れています。期間は研修プログラムにより長短がありますが、長いと3ヶ月在任する研修医もいます。今回は、古寺研修医を紹介します。

はじめまして。新潟大学病院研修医の古寺一樹と申します。地域医療を学ぶため、10月より3か月間、松代病院で研修をさせていただきます。短い期間ですが、一日一日を大切に多くを学び、少しでも皆さんのお役に立てるよう一生懸命頑張りたいと思います。

私は三条市出身ではありますが、これまで松代を訪れたことはなく、町のことはほとんど知りませんでした。引っ越してきたその日にロ・マン24時間マラソンに参加させていただきましたが、このようなイベントがあることも初めて知りました。今回の研修は松代を知る良いきっかけになると思い、3か月間がとても楽しみです。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



お知らせ

みなさまに気を付けていただきたいことや今後当院で開催予定のイベントをお知らせします！

①今年も健康教室を行っています！

今年も「なじょだね健康教室」やっています。

8月16日に行った第1回のテーマは「虫さされ・マムシ咬傷」でした。虫さされ・蜂・マムシなど身近な所にある危険について正しい知識を学びました。



次回は11月に「インフルエンザについて」を予定しています。この時期になると、インフルエンザに注意が必要となってきますので、感染をしないことと広げないための知識を学びましょう。



第3回目は2月に予定しています。内容は未定ですが楽しみにしてください。

参加費無料！自由参加です。時間は1時間程度です。詳細は院内のポスターと有線放送でご案内いたします。都合のつく方、皆さまお誘い合わせのうえお気軽においで下さい。

②『地域医療を考えるシンポジウム』を開催します

日時： 平成25年11月16日(土) 13:30~16:00

場所： まつだいふるさと会館 2階多目的ホール

参加料：無料



魚沼基幹病院の新設、十日町病院の改築など魚沼地域の医療再編も具体的に動き出した中で、この地域の医療資源を守り、継続していくためには、当病院が地域の皆さまに信頼される病院づくりを一層推進するとともに、地域の皆さま及び行政等と一緒に、医療スタッフが定着する魅力ある地域になることが大切です。

今年も、地域と病院を結ぶ交流の機会として、『地域医療を考えるシンポジウム』を開催することとしましたのでご案内いたします。

今回は、今年の春の叙勲で瑞宝小授章を受章されました前県立十日町病院院長の室岡寛先生からご講演いただくことにしております。先生からは、現在、当院で外来診療、訪問診察を行っていただいております。先生からは、現在、当院で外来診療、訪問診察を行っていただいております。先生からは、現在、当院で外来診療、訪問診察を行っていただいております。先生からは、現在、当院で外来診療、訪問診察を行っていただいております。

皆さまのご参加を是非お願いします。

皆さまの参加をお待ち
しています。

とびっくす

当院で開催したイベントや、病院のとりくみを紹介します！

中学生・高校生職場体験がありました！

8月上旬に松之山中学校2年生と松代高校2年生の職場体験がありました。今年には看護師の他、薬剤師や理学療法士、検査技師などの体験希望がありました。

当日は、希望する職種体験を中心に院内各部門の紹介や職員に密着し、普段見ることができないさまざまな体験をしてもらいました。これからも様々な場面で地域に愛され、貢献できる病院でありたいと思っています。

体験の様子



『ロ・マン24inまつだい』に参加しました。

10月5/6日に行われた、「ロ・マン24inまつだい」に参加しました。

鈴木院長の監督のもと「浜海ベアーズ」として参加して、115周を完走することが出来ました。



毎年、アンカーは院長
です。ゴール!!



みごとロ・マン24完走！115周を達成!!



11月の診療予定



11月診療予定表

電話：025-597-2100

診療科		月		火		水		木		金		備考
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	1 診	水澤	小堺	小堺			水澤	小堺	鈴木	小堺		
	2 診	鈴木		鈴木	予防接種 禁煙	鈴木		室岡		水澤	予防接種	
精神科	中条第2病院 須賀院長					13日 ※要予約						13日(第2水曜)
整形外科	新潟大学 大森医師					6日 20日 ※要予約						6日(第1水曜) 20日(第3水曜)

【受付時間】 午前8時30分～11時30分 午後1時～3時
 ※精神科受診希望の方は、当院の内科を受診後の予約受付となります。
 【予約日の変更】 予約を変更したい場合は、平日の午前10時から午後3時まで内科外来へお電話ください
 【お薬手帳】 診療日には、お薬手帳を持参してください。